

第1号議案 令和5年度事業実績について

●年間計画と変更について

- *新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、1学期から保護者が子供の成長を感じることができる機会を積極的に設けた。そのことは、保護者と子どもが、安心して通園できる「開かれた幼稚園(教育活動)」という点においても望ましい形となった。
- *おやこ運動会(10月：今小グラウンドにて一斉開催)・生活発表会(12月：ロゼシアター大ホールでの分散開催)・作品展(2月：園内で参観を含む分散開催)・卒園式(3月20日：通常開催)の行事は予定通りで、来賓招待は自粛して行った。また保育あるいは英語参観等は分散または1週間という期間を設けるなど、駐車場混雑と人の密集を考慮して行った。
- *母の会活動は、①「おやこフェスタ いまいづみ」(7月) ②生活発表会では昨年に引き続き、ひよこ・年少・年中の部と年長の部の2部構成で行い、マザーコーラスは休止。③クラブ活動は、年々入会者が減っていることから、まずはクラブのきっかけづくりにもつながるべく、単発で参加することができる「ハンドメイドクラブ」を新設し、ヨガレッチ・英会話・絵本の会・刺繍の計5クラブが開講した。講師は、卒園生の保護者を依頼したり、アプリを活用する等、クラブ大改革の年となった。
- *地区行事の参加の予定はあったが、体育祭は悪天候により園児の出演なし。文化祭は年中児参加。安心のまち今泉は園行事との兼ね合いで辞退となった。
- *令和5年11月末に理事長今泉邦弘が病気の療養に入ったが、令和6年1月2日に逝去した。現役の理事長であったこと、ライオンズや県教育関係の社会貢献があったことなどから、年始かつ急な訃報に多くの方が集まった。葬祭場の立地状況を考慮して、在園・卒園児家族は後日お別れの会を園内で設け、当日は19時以降まで卒園生等が来園した。教職員を大切にしてきた理事長の為に、通夜・葬儀、お別れの会に至るまで、教職員が一丸となって理事長を見送ることができた。

●寄付金・現物寄付・補助金について

- *寄付金・・・①一般寄付金
母の会費より、子どもの保育や行事(誕生会ドーナツ委託費・生活発表会会場助成・クリスマスプレゼント助成・ペアレンツハウス光熱水費と冷暖房費)に係る経費として700,000円のご寄付を頂いた。
- *現物寄付・・・①母の会「おやこフェスタいまいづみ(えんにちごっこ、手作り品・ドーナツ販売等)」の売り上げ金より大型簡易テント1張(165,000円)をご寄付頂いた。
- *ベルマーク活動・・・令和5年度は48,097点を集計したが、本年度の購入品はなかった。現時点での合計点数121,855点は次年度に楽器などの購入を希望する。
- *補助金・・・全ての補助金は人件費に活用した。
*私立学校安全特別対策事業費補助金(バス安全装置2台分・・・297,000円) 県

*障害児教育事業補助金 (784,000円×9=7,056,000円) 〔県〕
医師の診断書を有する幼児10名の申請をしたところ9名が承認された。

*支援金・・・静岡県児童福祉施設等物価高騰対策支援金 (上半期・・・180,000円) 〔県〕
〃 (下半期・・・180,000円)

*富士市民間保育所等補助金
一時預かり事業「ぴーちゃんのへや」 (2,593,246円)
特別支援事業「障害児教育事業」 (3,375,000円/3人)

●教職員について

1)令和5年度は、本務職員(22名、内6人が時短)・本務職員(2名)・非常勤教員(12名)・非常勤職員(3名)・園児英語講師(4名)の計43名と小学生(フレンドクラブ)英語講師6名の総勢49名であった。準教諭(時短教諭)の1人担任の在り方と各学年のフリー教諭もしくは特別支援教諭等の配置を工夫し、安全に保育ができるよう試みた。働き方改革も含め(家族も含む)感染症や家庭の事情などによる欠勤・遅刻・早退等の対応において、上司の負担が大きくなっている為、今後の対策を要する。預り保育事業「ぴーちゃんのへや」では、学生アルバイトも年間通して2名・短期で数名を雇用した。(実習等を通して適任と思われる実習生、または教諭を目指す学生限定で配置可能となっている)

◎働き方改革も含め(家族も含む)感染症や家庭の事情などによる欠勤・遅刻・早退等の対応において、上司の負担が大きくなっている為、今後の対策を要する。同時に人脈の幅を広げていくことが必要である。

●補修工事等について

1)令和5年度は、北園舎1Fの軒天工事を行った。R5年6月2日の活発な梅雨前線と台風被害により、北園舎1Fの軒天が一部落下。保育後ということもあり教職員含めて怪我被害はなし。(県・市ともに直ちに報告済み)翌日からの保育を安全に行う為に、園舎を設計・メンテナンスを依頼している井上建設に応急処置と北園舎軒天全体の点検を行ってもらい、夏季休業中に大々的な点検と補修工事・追加対策をしてもらった。保護者には、その都度手紙にて報告をしつつ理解と協力を求めた。

◎工事・修繕等はいくつかの業者の相見積もりが適当である。園舎の特殊な部分の修繕や急を要する場合は別として、引き続き数社での相見積もりの上で工事依頼をしていくように考慮していきたい。